

# 四国歯学会雑誌

第 3 卷 第 2 号

(平成 2 年 12 月 30 日)

## SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 3 (DECEMBER 1990) NUMBER 2

### 総 説

骨をつくる……………高木 知道, 山下 菊治…… 203

歯周病原性菌の定着機序とその抑制について……………恵比須繁之…… 221

### 原 著

有袋類, オオネズミクイ, *kowari* (*Dasyuroides byrnei*)  
のエナメル細管の構造について……………益田 忠幸, 山下 菊治…… 231

下顎小白歯抜歯による第一大臼歯前後の歯牙  
萌出余地の変化について……………澤田 義勝, 山口 和憲, 天真 寛, 河田 照茂…… 241

### 学術講演

口腔・顎領域に発現する炎症性疾患の診断, 治療……………長山 勝…… 255

四国歯誌

四 国 歯 学 会

Shikoku Society of Dental Research

Shikoku  
Dent. Res.

## 四国歯学会会務報告

### ◎第9回総会報告

1990年6月30日(土)午後1時10分より歯学部大講義室で開催。西野理事を議長に選出し、若野洋一会長挨拶に引き続き、下記の報告・協議が行われた。

#### A. 報告

○四国歯学会登録会員数(平成2年5月31日現在) 会員総数589(内訳:名誉会員1, 一般会員534, 学生会員46, 賛助会員8)

#### ○名誉会員の推薦

吉田幸子(元徳島大学歯学部口腔外科学第一講座助教授)を推薦した。

#### ○運営委員の改選

第5期運営委員および編集委員(任期:平成2年4月1日より2年間)を選出した。庶務:高木知道理事, 金森憲雄評議員。会計:桑山則彦理事, 浅岡憲三評議員。学術:恵比須繁之理事, 吉山昌宏評議員。編集:佐藤光信理事, 吉田秀夫評議員。

#### ○評議員の改選

第4期評議員のうち, 歯科矯正学講座選出の山口和憲氏に代わり天真 覚氏が第5期評議員となり, 他の評議員は引き続き留任となった。

#### ○四国歯学会雑誌第3巻1号について

本年2月10日付けで発行された会誌の予算処置について報告された。1, 投稿論文料金の改定:従来の6ページ以下35,000円を改め, 一律10,000円とする。2, 会誌印刷費として第3巻1号に限り, 学会より60万円, および会誌掲載の広告料金(25万円見当)を充てる。なお, この1, 2は暫定とし, 今後投稿料金ならびに会

誌印刷費の取り扱いを経常化できるよう, 早急に検討する。

#### ○その他

運営委員会・理事会では, 今後:1)会誌の発行を定期化すること, 2)会務・会誌などに関する連絡をより円滑化して会員に周知すること, 3)学会活動を活性化することなどを方針とすることが報告された。

#### B. 協議

##### ○1989年度決算

##### 収入

	決算高	予算高	増減
繰越金	5,672,560	5,672,560	0
入会金	33,000	55,000	-22,000
年度会費	1,199,000	1,763,200	-564,200
過年度会費	242,000	330,000	-88,000
賛助会費	425,000	425,000	0
論文掲載料	1,159,500	1,279,500	-120,000
広告掲載料	310,000	230,000	80,000
雑収入	111,958	20,000	91,958
計	9,153,018	9,775,260	-622,242

##### 支出

	決算高	予算高	増減
学会開催費	100,000	200,000	-100,000
会誌発刊費	0	1,650,000	-1,650,000
会誌送料	0	150,000	-150,000
通信連絡費	86,533	150,000	-63,467
事務費	3,827	120,000	-116,173
備品費	0	500,000	-500,000
名簿作製費	0	200,000	-200,000
予備費	10,000	100,000	-90,000
繰越金	8,952,658	6,705,260	2,247,398
計	9,153,018	9,775,260	-622,242

会誌発行の予算・決算が持ち越された。名簿印刷も次年度に繰り越された。

監査報告(河田照茂監事)があり, 全会一致で承認された。

##### ○1990年度予算

##### 収入

繰越金	8,952,658
入会金	40,000
年度会費	1,156,000
過年度会費	304,000
賛助会費	250,000
論文掲載料	1,150,000
広告掲載料	400,000
雑収入	20,000
計	12,272,658

支 出		
学 会 開 催 費	100,000	
会 誌 発 刊 費	2,666,000	
通 信 連 絡 費	350,000	
事 務 費	120,000	
備 品 費	500,000	
名 簿 作 製 費	80,340	
繰 越 費	100,000	
繰 越 金	8,356,318	
計	12,272,658	

前年度から繰り越された会誌印刷費と名簿印刷費、さらに第3巻2号の発刊費が含まれる。

全会一致で承認された。

○1990年度事業計画

1. 第9回総会、第13回例会を1990年6月30日に開催する。
2. 夏期講演会は8月26日に徳島県歯科医師会館で長山 勝教授（徳島大学歯学部口腔外科学第一講座）を講師として行うこと。
3. 会誌発刊を年2回とし、本年度に第3巻2号を発行する。雑誌投稿料、投稿規定の見直し、同手引きの作製を検討中であること。

以上が承認された。

○会則の改正

1. 会則第12条第3項の運営委員に関する条項に“編集”を入れる。
2. 会則第17条第2項の編集委員会に関する条項を削除する。

以上が承認された。

○監事選出

1990、1991両年度の監事として、松本直之理事（徳島大学歯学部歯科補綴学第一講座）と川田雄祥氏（徳島県歯科医師会）を選出した。

◎例会および夏期学術講演会

- 第13回四国歯学会例会は、1990年6月30日（土）に開催され、別掲のごとく特別演題ならびに一般演題6題が講演された。
- 1990年度夏期学術講演会は、徳島県歯科医師会の協力のもとに8月26日（日）に歯科医師会館にて開催され、長山 勝徳島大学歯学部口腔外科学第一講座教授による「口腔・顎領域に発現する炎症性疾患の診断、治療」と題する講演が行われた。

# 第13回四国歯学会例会 記 録

## プログラム

日 時 平成2年6月30日(土)(13:30~16:00)  
会 場 徳島大学歯学部大講義室(4階)

### 就 任 講 演

歯周病原性細菌の定着機序とその抑制について  
恵比須繁之  
徳島大学歯学部歯科保存学第一講座

### 一 般 講 演

1. 当科における下顎骨髄炎の臨床統計的観察  
○堀 昭夫, 莊田 彰  
倉郷 貴敏, 長山 勝  
徳島大学歯学部口腔外科学第一講座
2. 重度歯周疾患罹患歯を含む欠損歯列をコースス・  
テレスコープデンチャーで処置した1症例  
○楠 雅博  
兵庫県(徳島大学歯学部付属病院第二補綴科  
研修登録医)
3. 溶連菌製剤OK-432に対する単クローン抗体の産生  
とOK-432のインターフェロン誘導能に及ぼす影響  
○岡本 正人, 加地 亮詞  
総谷 啓史, 梁川 哲雄  
由良 義明, 吉田 秀夫  
佐藤 光信  
徳島大学歯学部口腔外科学第二講座
4. Transforming Growth Factor- $\beta$ の破骨細胞形成  
における作用について  
○上网 寛, 日浦 賢治  
住谷 光治, 河田 照茂  
徳島大学歯学部歯科矯正学講座
5. 顎関節側面断層撮影による顎関節症患者の経時的  
観察の意義  
○細木 秀彦, 高木 康里  
前田 直樹, 佐藤 郁雄  
福富 茂, 正田 二郎  
岩本 容泰, 岩崎 裕一  
上村修三郎  
徳島大学歯学部歯科放射線学講座

### 6. 顎関節の立体運動観察(ビデオ発表)

○鈴木 温, 田中 英央  
大久保由紀子, 郡 元治  
池田 隆志, 藤村 哲也\*  
中野 雅徳, 坂東 永一  
細木秀彦\*\*, 上村修三郎\*\*

徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座  
徳島文理大学工学部情報システム工学科\*  
徳島大学歯学部歯科放射線学講座\*\*